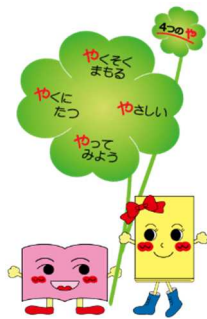


図書館だより

NPO 法人はまでら 4 つのや図書館
第 92 号 令和 5 年(2023) 11 月 1 日



～ 心通わせて、地域とともに在る図書館… ～

館長 由良 芳子

やっと秋らしくなったと思えば、急に気温が下がり、寒くなりました。例年より早くにインフルエンザが流行しているとか。体の調節が難しく感じる昨今です。皆さま、お変わりなくお過ごしですか。

はまでら4つのや図書館では、子ども達が宿題をしたり、俳句に挑戦したり、少しずつですが、コロナ禍前の明るい雰囲気に戻ってきました。加えて、9月末、赤ちゃんとお母さんが来館された時のエピソードです。這い這いの上手な赤ちゃんは好きな絵本コーナーから全速力で、入り口近くまで猛進し、ちょうど居合わせたスタッフの膝の上でにっこり。「本のところ、行こかあ」と、声かけての来館だったと、お母さんのほのぼのとしたお話でした。(写真:本のところ大好きな涼ちゃん(^_^))

次に、地域の若いエネルギーを2回に渡って紹介します。浜寺小学校の卒業生が、当図書館でのボランティアの日々を綴ってくれました。①今夏に数回ボランティアをした近藤由奈さん、②毎週木曜日にボランティアをする黒田詩織さん(次号掲載予定)からの寄稿文です。

このように地域の皆さんと心を通わせて、地域とともに在る図書館をうれしく思っています。



「はまでら4つのや図書館はみんなの居場所」-ボランティアに参加して-
近藤由奈 19歳

今回、4つのや図書館でボランティアをしようと思ったきっかけは、2つあります。1つ目は、浜寺小学校に在校していた頃よく利用していた図書館だったからです。2つ目は、私は公認心理師というカウンセリングを行う心理職に将来就きたいと考えているため、多くの人と関わる機会を増やしたいと考えたからです。

ボランティアを夏休みに3回して、4つのや図書館は、親子をはじめとする来館者にとっての「居場所」であるだけでなく、ボランティアの人達にとっても「居場所」になっていると感じました。

来館者は、特に児童は座りこんで本に夢中になったり、大人の方は、時間を気にすることなく本の感想を話したり、様々な話題の意見交換したり楽しそうです。

また、ボランティアの人にとっては、この図書館の活動が生きがいの一つになっているように見えました。

つまり、はまでら4つのや図書館は、よくある図書館などの良さに加えて、4つのや図書館特有の良さが組み合わさった居心地の良い場所、つまり「みんなの居場所」になっていると感じたのです。今年の夏休みの発見でした。来年の夏もボランティアとして活動に参加したいと思いました。

『わたしのお気に入りの一冊』

ご自分のお気に入りの一冊を紹介しあうコーナーです。

書名『ときめくカエル図鑑』 著者：高山ビッキ(文)/松橋利光(写真) 山と渓谷社
紹介者：野口信行さん(堺市東区)



カエルなどの両生類が絶滅の危機にあることはご存知でしょうか。ここ50年の間に世界で実に200種以上のカエルが絶滅しているそうです。カエルは「環境のカナリア」と呼ばれ、地球温暖化の最初の犠牲者は、カエルなどの両生類だと言われています。薄い皮膚を通して酸素や水を取り入れるカエルは、化学物質や紫外線に弱いのです。

わたしがカエルに特に関心を持ったのは、15年ほど前、アカヤシオなどの花を見に御在所岳に登った折に、ロープウェイ山上公園駅で「国際カエル年」というポスターを目にした時からです。それは、絶滅の危機にあるカエルなどの両生類を救おうという「両生類の箱舟プロジェクト」の推進キャンペーンのポスターでした。

最近、わたしは野外に出かける時には、文庫版の「ときめくカエル図鑑」をバックに入れてあります。著者は祖父の代から集めたカエルグッズを通してカエルワールドの扉を開けた女性ライター、高山ビッキ(高山美穂)さんです。世界と日本の80種余りのかわいい?カエルの写真が、楽しい解説つきで載せられています。ワンと鳴くカエルとかカエルの恋愛事情とか育メンガエルとかカエルに関する興味深い情報や蘊蓄もおもしろいです。カエラーのあなたもこれからカエラーになろうかなというあなたにも必携の書、さあ本書を手にかエルワールドに出かけ、カエルの眼から地球を見てみませんか。

(カエルが冬眠の時期に入る地域では、この本を読んで来春に備えていただければうれしいです。)

歴史探訪研修会のお知らせ

大阪府で唯一の重要伝統的建造物群保存地区に指定されている富田林寺内町へ行きます。タイムスリップしたような昔ながらの町家が並ぶ寺内町で秋の1日を楽しみましょう🍁
講師は郷土史研究者、元小学校教頭の土肥俊夫先生です。

《日にち》11月23日(木・祝)
《行先》富田林市寺内町
《行程》8:45 南海本線 諏訪ノ森駅集合
8:58 諏訪ノ森駅発
天下茶屋駅にて南海高野線乗換
河内長野駅にて近鉄長野線乗換
10:02 近鉄河内長野駅発
10:13 富田林駅着
寺内町散策(じないまち交流館・旧杉山家住宅・興正寺別院・仲村家住宅など)
12:30 昼食予定
14:02 富田林駅発
15:10 諏訪ノ森駅着解散

旧杉山家住宅
興正寺別院



富田林市観光協会 HP より



◎交通費、昼食代、入館料などは各自負担
◎途中駅からの参加、現地集合解散もOK
◎申込み〆切 11月15日

※図書館にある申込み用紙にご記入いただくか、メールにてお申し込みください。
(お名前、ご連絡先をご記入ください)
Mail: yottunoya@hotmail.com

復活!おっちゃんの読み聞かせ

10月11日(水)、3年8カ月振りにおっちゃんの読み聞かせを再開しました。読み手は浜寺小学校の藤井幸一教頭先生です。14時に開館すると、小学生や保護者の方、地域の方たちが続々と集まってきました。「大ピンチずかん」(鈴木のりたけ著 小学館)のお話に子どもたちはもちろん、大人も引き込まれていました。絵本の内容を通して主人公がピンチの時の気持ちを「共感」することの大切さ!!「ピンチはチャンス」ピンチを乗り越えることで成長することの大切さ!!を伝えてくださいました。その後、堺の町や、諏訪森の町の魅力を素敵に紹介していただきました。

次回(一月)の兼題は「毛糸」または自由 締切 十二月六日(水)	兼題「月」	令和五年十一月一日
あきの風さやさやふいていきもち	一年	百花
あきの夜としよのかえりのあきのかぜ	二年	咲みり
仕事後にぶらりと歩く月見かな		怜奈
月明かり稲掛け仕事はかどれり		直子
ゆらゆらと水とたわむる月の影		幹子
月見上げうさぎを探すきみは十二		ユウ子
楽しみは月を見上げて飲む酒よ		昭義
帰りの道足音ひびく月の夜		ひとみ
名月について見返りてほおゆるむ		勝義
浜寺にのぼる名月松の上		和之
月あかり幟の並ぶ村芝居		勝子
月今宵采女の御霊猿沢池に		雅子
吾亦紅こなら牛も来ぬぬこ		文浩
古本の小口に染みや月明り		忍美
急くなかれ暦より出づ神無月		明子
明の月ばつと目に入る幸先は		芳子

2023年11月・12月・2024年1月の開館日時

どなたでもご利用いただけます。
◎水曜日14時～17時
11月: 1日・8日・15日・22日休・29日
12月: 6日・13日・20日・27日休
1月: 3日休・10日・17日・24日・31日
◎木曜日10時～17時
(第2・第4木曜日 12時～)
11月: 2日・9日・16日・23日休・30日
12月: 7日・14日・21日・28日休
1月: 4日休・11日・18日・25日

2023年度 NPO 会員募集

2023年4月～2024年3月の会員を募集しています。図書館でも受け付けます。ご支援よろしくお願ひします。
協力会員 1口 1,000円/年
賛助会員 1口 3,000円/年
正会員 1口 5,000円/年
口座名: NPO 法人はまでら4つのや図書館
◎ゆうちょ振込先 00950-9-171544
*払込票にご住所・お名前・お電話番号・会員種類をご記入のうえ、できるだけATMをご利用ください。
◎楽天銀行 支店番号 253
普通 7225222
*お名前の後に会員種類をご入力ください。



公式LINE →
URL yottunoya-library.com
Mail yottunoya@hotmail.com

所在地: 〒592-8348 堺市西区浜寺諏訪森町中1丁 103-1(浜寺校区文化会館内)南海本線諏訪ノ森駅東側線路沿北へ

連絡・・・<警報(大雨、暴風、地震、津波、他)が発令されたときは、図書館は休館します。>

2023.11月の新着本より

当月の新着本のリストと紹介文の一部は図書館受付に掲示しています。ホームページにも掲載しています。

ビビュッティ PIHOTEK ー北極を風と歩くー

荻田 泰永/井上 奈奈

「植村直己冒険賞」受賞の極地冒険家、荻田泰永×「世界で最も美しい本コンクール」銀賞受賞の井上奈奈による絵本。
北極をたった一人で歩く“僕”の一日を描く。頬を叩く風、北極での生き方を知る動物たち、空から降りる暗闇、そして……。北極を歩く“僕”を追体験できる、命と死を感じる美しい絵本。

ジェニーのぼうし

イラ・ジャック・キツ/石津ちひろ

ジェニーのぼうし



ジェニーはおば様から新しいぼうしが届くのをこころ待ちにしていました。でも、届いたのは思いがいていたはなやかなぼうしとは、ほどとおいシンプルなぼうし。ジェニーはしかたなく、そのぼうしをかぶって出かけていきますが、まわりのみんなの素敵なおぼうしが気になって仕方ありません…
かわいいものが大好きな女の子の気持ちがあふれる夢いっぱい絵本です。

麦畑のみはりばん

バス・フェリー/テリ・ファン&エリック・ファン/よしい かずみ

かかしは、畑を守るのが仕事。畑にはだれもいません。キツネやシカ、ネズミもカラスもおことわり。そんなある日、かかしの足元にカラスのひなが落ちてきました。カラスは畑の天敵です。けれど、かかしの取った行動は意外なものでした…。



ねことわたしのまほうの日

かわしま えつこ/おくはら ゆめ



2年生なのに、鉄棒の「まえまわりおり」ができない、まい。みんなに笑われるのがいやで、まん丸のお月さまを見ながら「クウになりたいな」とつぶやきます。翌朝、起きると、目の前に自分の顔が！ なんと、まいと飼い猫のクウは、満月と黒猫の魔法で、体が入れかわってしまったのです！クウは平気で学校へ行ってしまう、心配したマイはついていき、クウが国語や体育の授業を受けるのを見守ります。クウは鉄棒もできて、まいがほっとしていると、友だちの家の猫のシマが呼びに来ます。なんと、その日はクウの婚約者をめぐる決闘の日だったので！ 相手は気取り屋の猫のピエトロで……。

玉瀬家の出戻り姉妹

まさき としか

澪子は41歳。夫に浮気されバツイチ引きこもり中。ある日、売れっ子イラストレーターとして活躍中の姉が金の無心にやってきて、流れで一緒に実家に出戻ることに。そんな訳あり姉妹を母は他人事と知らぬ顔。女三人の恠しい実家暮らしが始まるが、ある夜、男の視線を感じて目が覚めて――。帰ればそこに家族がいて居場所がある。実家大好き小説誕生。

グランドシャトー

高殿円

高度経済成長期、義父との結婚を迫られたルーはキャバレー「グランドシャトー」のNo.1ホステス真珠の家に転がり込む。ふたりは姉妹のように仲睦まじく暮らすも、莫大な稼ぎがあるはずなのに下町の長屋に居続ける真珠を不審に思ったルーは、彼女の過去を探るが――。

“男の作った城”キャバレーが街と女の生き様を照らす、これは“ひかり”の物語。

ワニのガルド おーなり由子



ヒナちゃんは、ひっこしたばかりで、まだクラスに、なかのいい子がいません。朝おきて、学校にいきたくないなと思いながら、みどり色の歯ブラシをぱくんとくわえたときです。いきなり口の中で、その歯ブラシが動きだしたからびっくり。思わずほうりなげた歯ブラシは、なんと小さなワニだったのです。ワニは「ひどいなあ！」という、ぽんと音をたてて大きくなりました。ガルドという名前そのワニは、さびしい人にだけ見えるおばけだというのですが……。ワニのガルドとヒナちゃんの、おかしくて、あたたかなものがたり。

かなしきデブ猫ちゃん マルの秘密の泉

早見 和真/かのう かりん



愛する飼い主、アンナが病気に!? マルは万病を治すという秘密の泉を探して再び冒険へ。大人も子供も好きになるデブ猫マルの物語。アニメにもなった大人気絵本シリーズの第2弾が待望の文庫化

スキマワラシ

恩田陸

白いワンピースに、麦わら帽子。廃ビルに現れる都市伝説の“少女”とは？古道具店を営む兄と、ときおり古い物に秘められた“記憶”が見える弟。ある日、ふたりはビルの解体現場で目撃された少女の噂を耳にする。再開予定の地方都市を舞台にした、ファンタジックミステリー。

彼女が天使でなくなる日

寺地はるな

九州北部にある人口三百人ほどの星母島。子どもについての願い事なら何でも叶えてくれるという「母子岩」があり、近年有名になっている。そこで「モライゴ」として育てられた千尋は、一年前に戻ってきて、託児所を併設した民宿を営んでいた。子どもにまつわる様々な悩みを抱え、母子岩のご利益を頼りやってきた宿泊客に、千尋は淡々と為すべきことを為し、言うべきことを言う……。簡単な癒しではない、でも大切なことに気づかせてくれる、宝物のような小説。

※版元ドットコム、Amazonより引用しています

だれもしらない小さな家

リナー・クワイ/小宮 由



町の通りに、大きなマンションにはさまれた小さな空き家がありました。いつも窓をのぞいていたアリスとジェーンは、ある日、とうとう足をふみいれます。おうちごっこはクッキーやさんに発展！ところがそこへ大家さんが怒鳴りこんできて……。だれにも見向きもされなかった小さなおうちに、人の温もりと明かりがもどります。

ぼくのちいばつぱ

長江 優子/早川 世詩男

朝おきて、リビングルームにいくと、お母さんとお父さんが、鳥かごを見つめていた。お母さんの足もとには、空のせんとくかごがたおれている。お父さんのてのひらには、小鳥用のえさ箱がのっている。「……チーパは？」チーパがいなくなった。その日から、ぼくの〈ヒニチジョウ〉がはじまったんだ。思いがけない日々のなかで成長していく少年・イタルの物語。

琥珀の夏

辻村深月

『かがみの孤城』『傲慢と善良』の著者が描く、瑞々しい子どもたちの日々。そして、痛みと成長。かつて、カルトだと批判を浴びた〈ミライの学校〉の敷地跡から、少女の白骨遺体が見つかった。ニュースを知った弁護士の子は、胸騒ぎを覚える。埋められていたのは、ミカちゃんではないか――。小学生時代に参加した〈ミライの学校〉の夏合宿で出会ったふたり。法子が最後に参加した夏、ミカは合宿に姿を見せなかった。30年前の記憶の扉が開くとき、幼い日の友情と罪があふれ出す。

おしよりん 藤岡 陽子

明治三十八年、福井県麻生津村。増永五左衛門は、この地に農業以外の産業を根づかせるべく苦闘していた。そんな時、大阪へ出稼ぎに出ている弟の幸八が、当時はほとんど普及していなかったがねに着目、村でのめがね製造を提案する。村人たちの猛反対の中、輝く地平を求めて、二人は困難な道を歩み始めるのだった――。「金の角持つ子どもたち」等で注目を集める作家・藤岡陽子の新たな代表作の誕生！

なごり雪

新堂 冬樹

「なごり雪に願い事をすれば叶うって、小学生の頃に読んだ本に書いてあったの」
トップモデルの海斗の密着取材をするため、スイスを訪れたファッションライターの小野寺古都。季節外れのなごり雪が舞うチューリヒ湖畔で、古都はわざと露悪的に振る舞う海斗の真の姿を探ろうとする。やがて似た者同士二人は惹かれあうが、幸せも束の間、海斗が交通事故で半身不随となってしまった。死を望む海斗と、生を望む古都。究極の選択を迫られた二人の愛の行方は？